2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科目	区	分	基礎分野	授業の方法		演習	N E
科目名	卒業研究 I		必修/選	₹択ℓ	D別	必修	授業時数(単位数)	60	(2)	時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び	「曜日	寺限	前期	教室名			
担当教員	濱口 幹太	実務経験と その関連資格	人間環境学専攻前期博士課程修了、健康運動指導士、中高保健体育第一種教員 免許				種教員			

《授業科目における学習内容》

卒業論文は、学びの集大成として、研究成果を論文として作成する必須科目である。卒業論文を作成するためには、現在の研究の到達の状況を知るために参考文献にあたり、実験や実習を行うことで証拠を集め、これらの内容を考察した上で、文章として作成する必要がある。このような論文作成の過程で論理的思考力や客観的に物事を見る力、また継続・靭性力を高めていく。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)・平常点(10%)・発表(70%)から授業の理解度を総合で示す。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

健康・スポーツ科学のための研究方法(杏林書院・出村愼一) 配布資料

サイニー、グーグルスカラーなど

《授業外における学習方法》

毎回の授業にて行った内容の復習を行うこと。

《履修に当たっての留意点》

グループワークを中心に展開。

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	実験を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
1	個習形式	各コマに おける 授業予定	本実験および文献研究	部 項	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	実験を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
2 回	側習形式	各コマに おける 授業予定	本実験および文献研究	部の	進捗状況を確認し共有する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	中間発表を通じて自身の課題を理解することができる。	≖ □ ★ 沙欠 业 l	グループ活動における 進捗状況を確認し共有 する	
3 □	側習形式	各コマに おける 授業予定	中間発表	近加貝が		
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	中間発表を通じて自身の課題を理解することができる。		グループ活動における	
4	側習形式	各コマに おける 授業予定	中間発表	配布資料 グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	中間発表を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
5	興習形式	各コマに おける 授業予定	中間発表	配布質科 グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	

	美の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	中間発表を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
6 □	側習形式	各コマに おける 授業予定	中間発表	近か見れ	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	実験を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
7 回	側習形式	各コマに おける 授業予定	本実験および文献研究	近ループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	実験を通じて自身の課題を理解することができる。	─ 配布資料	グループ活動における	
8 回	側習形式	各コマに おける 授業予定	本実験および文献研究	近ループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	実験を通じて自身の課題を理解することができる。	─ 配布資料	グループ活動における	
9 回	倒習 形式	各コマに おける 授業予定	本実験および文献研究	グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	実験を通じて自身の課題を理解することができる。	─ 配布資料	グループ活動における	
10回	個習形式	各コマに おける 授業予定	本実験および文献研究	グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
11 回	側習 形式	各コマに おける 授業予定	結果作成	近ループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	─ 配布資料	グループ活動における	
12回	倒習 形式	各コマに おける 授業予定	結果作成	グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	─ 配布資料	グループ活動における	
13 回	側習形式	各コマに おける 授業予定	結果作成	がループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	─ 配布資料	グループ活動における	
14		各コマに おける 授業予定	結果作成	近の資料	進捗状況を確認し共有する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
15 回	側習形式	各コマに おける 授業予定	結果作成	近ループ資料	進捗状況を確認し共有 する	

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科目	区	分	基礎分野	授業の方法		演習	N E
科目名	卒業研究 I		必修/逞	銭択ℓ	D別	必修	授業時数(単位数)	60	(2)	時間(単位)
対象学年	2年生		学期及7	ブ曜日	時限	前期	教室名			
担当教員	濱口 幹太	実務経験と その関連資格	人間環境学専攻前期博士課程修了、健康運動指導士、中高保健体育第一種教員 免許				種教員			

《授業科目における学習内容》

卒業論文は、学びの集大成として、研究成果を論文として作成する必須科目である。卒業論文を作成するためには、現在の研究の到達の状況を知るために参考文献にあたり、実験や実習を行うことで証拠を集め、これらの内容を考察した上で、文章として作成する必要がある。このような論文作成の過程で論理的思考力や客観的に物事を見る力、また継続・靭性力を高めていく。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)・平常点(10%)・発表(70%)から授業の理解度を総合で示す。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

健康・スポーツ科学のための研究方法(杏林書院・出村慎一)

サイニー、グーグルスカラーなど

《授業外における学習方法》

毎回の授業にて行った内容の復習を行うこと。

《履修に当たっての留意点》

グループワークを中心に展開。

授美 方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
16 回	側習形式	各コマに おける 授業予定	結果作成	がループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
17 回	興習形式	各コマに おける 授業予定	結果作成	配の負付 グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結果作成を通じて自身の課題を理解することができる。	≖1 / / /次 址1	グループ活動における	
18 回	興習形式	各コマに おける 授業予定	結果作成	配布資料 ガループ姿料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	≖1 / / /次 址1	グループ活動における	
19	興習形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	配布資料グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	而3 左 次 火 [グループ活動における	
20回	興習形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	配布資料 グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	

	削 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	一配布資料	グループ活動における	
21 回	倒習形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	がループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	──配布資料	グループ活動における	
22回	側習形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	がループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	一配布資料	グループ活動における	
23 回	個習 形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	がループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	一配布資料	グループ活動における	
24 回	個習 形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	がループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	通じて	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	一配布資料	グループ活動における	
25 回	個習形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	がループ資料	進捗状況を確認し共有する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	━配布資料	グループ活動における	
26 回	倒習 形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	配布資料 グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	──配布資料	グループ活動における	
27 回	倒習 形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	がループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	──配布資料	グループ活動における	
28 回	個習形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	がループ資料	進捗状況を確認し共有する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	──配布資料	グループ活動における	
29 回	側習形式	各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	近か貞科グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	抄録作成および文献検索方法を理解することができる。	配布資料	グループ活動における	
30 回		各コマに おける 授業予定	抄録作成および文献検索	近か資料グループ資料	進捗状況を確認し共有 する	